

営 農 情 報

令和5年4月25日発行

第5号

乾田直播の播種作業が始まります！

乾田直播の播種時期が近づいて参りました。下記のポイントを参考に播種作業を進めて下さい。

1. 《播種床作り》 碎土は2cm以下の土塊が70%程度を目指しましょう。

荒耕起 : 圃場を乾かし、残渣を埋めます。

均 平 : 滞水しやすい低い地点、除草剤の効きにくい高い地点を重点的に実施

碎 土 : 特に粘土の多い圃場は大きな土塊が目立つため、念入りに碎土します。

鎮 圧 : 播種前・・・表層を締め、硬い播種床で播種精度を高めます。
播種後・・・表面に残った種籾を埋め、土と密着させます。

2. 《播種時期》 天候と渡り鳥(マガン)の状況を見て判断しましょう。

～5月3日頃まで

メリット : 早い時期に播種作業が完了します。
除草剤の処理時期も前倒し出来ます。

デメリット : 低温に当たりやすい時期が長く、苗立率低下のリスクがあります。
表層に種籾が多いと、鳥(マガン)の食害に遭いやすいです。

5月4日～5月13日まで

メリット : 低温のリスクが少なく、すぐに温かい水が入水できます。

デメリット : 降雨が続くと、播種の適期を逃してしまいます。

3. 《播種量》 品種に合わせた播種量にしましょう。

下記の表を参考に播種量の調整を行いましょう。

	えみまる	大地の星	そらゆたか
種籾千粒重(g)	29.7	32.1	30.4
播種量(kg/10a)	10	10～12	10～12

4. 《播種作業》 播種深度は1.0～1.5cmを目指しましょう。

表層に種籾が多いと、鳥の食害や倒伏・除草剤による薬害の原因になります。播種時に種籾の位置を確認し、深さを調整します。

JAみねのぶ営農推進協議会

TEL0126-67-2334 FAX0126-67-2803